

補助事業者名	高根県自転車競技連盟	事業項目名	都道府県自転車競技連盟地域別選手権事業	委託の有無	無	委託比率 (50%以上)	無	補助金(千円)	補助対象経費総額(千円)	補助率
補助事業名	中国地域自転車競技選手権大会	事業形態	()	更新	1	年目 / 5	年計画	交付要望額	2353	
		事業コード		各事業区分のチェックポイントに 「治っている」				交付決定額(a)	1569	交付決定時
				「治っていない」項目がある				最終予算額	1569	2353
								最終予算額 (b)	1569	執行率 (b/a)
								決算額	1569	100 %
										2/3

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】
1. 社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す変化を記入してください)
2. 補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	目指す変化
世界的に日本の自転車競技レベルを高くすることで高め、世界やヨーロッパを目指すのが全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会を開催する。地方の観光産業も活性化を待ち、自転車競技への理解度を高める。	世界的に中国地域の自転車競技レベルは高くないが、世界やヨーロッパを目指す全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会、地方の観光産業は厳しい状況である。	世界的に日本の自転車競技レベルを高くすることで高め、世界やヨーロッパを目指すのが全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会を開催する。地方の観光産業も活性化を待ち、自転車競技への理解度を高める。

1. 補助事業は、様々な「社会的課題」を克服し、その対応、改善、解消、解決を目指す。計画・設計し、実施するものです。
(1) 補助事業の設計
「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
(2) 補助事業の実施
「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
2. 左記に「社会的課題」と補助事業の関係を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成させてください。
3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確に「目的」「成果」「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
4. また、補助事業の実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」(計画目標)を設定し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

枠内は補助事業終了後に作成してください。 枠内は平成25年2月未までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

評価項目	補助金 交付要望時 作成者 () [平成 23年 6月 30日]	計画変更時(最終計画) 作成者 () [平成 年 月 日]	自己評価 I 自己評価 II
対象者	中国地域に居住する自転車競技選手権大会の各代表者。	中国地域の代表選手権大会と自らの補助事業を対比し、計画は明確に「目的」「成果」「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。	中国地域の代表選手権大会と自らの補助事業を対比し、計画は明確に「目的」「成果」「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
ニーズ	世界やヨーロッパを目指すのが全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会を開催する。地方の観光産業も活性化を待ち、自転車競技への理解度を高める。	世界的に中国地域の自転車競技レベルは高くないが、世界やヨーロッパを目指す全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会、地方の観光産業は厳しい状況である。	世界的に日本の自転車競技レベルを高くすることで高め、世界やヨーロッパを目指すのが全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選手権大会を開催する。地方の観光産業も活性化を待ち、自転車競技への理解度を高める。

事業内容 A 具体的内容	中国地域に居住する自転車競技選手権大会の各代表者の参加による大会開催は、トランプ競技は今年完成したことで地元(市町)と連携して地元(市町)に配布して、大会とコースの情報提供を行う。	中国地域に居住する自転車競技選手権大会の各代表者の参加による大会開催は、トランプ競技は今年完成したことで地元(市町)と連携して地元(市町)に配布して、大会とコースの情報提供を行う。	中国地域に居住する自転車競技選手権大会の各代表者の参加による大会開催は、トランプ競技は今年完成したことで地元(市町)と連携して地元(市町)に配布して、大会とコースの情報提供を行う。
実施計画	トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。
実施体制	中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。	中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。	中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。中国地域自転車競技連盟にて主催する。スタッフはトランプ競技が30名程度、ロード競技が100人程度で、役員は不特定多数。

事業内容 B 実施結果	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。
事業の成果	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。
事業の成果・波及	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。	(1)トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。トランプ競技は2011年9月4日、ロード競技は2011年6月19日に大会を開催した。

平成23年度 事前計画／自己評価書 (事業費)

市内は補助事業終了後に作成してください。

市内は平成25年2月までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

評価項目	事前計画		計画変更時(最終計画)		自己評価 I	自己評価 II
	日数	日数	日数	日数		
C 【上段】 事業終了時 【下段】 平成25年 2月末時点	補助事業によりもたらされた成果の広げ	(1) 地方新聞に中国地域自転車競技選手権大会の取材依頼を行う。 (2) 地方テレビに中国地域自転車競技選手権大会の取材依頼を行う。			(1) 地方新聞に各大会の取材依頼を行なった。取材はロード競技の3回、リザルトの掲載を実施していただいた。 (2) 地方テレビ局に各大会の取材依頼を行なった。取材はロード競技の1回で地元ケーブルテレビによる取材。	
	【上記】 事業終了時 【下段】 平成25年 2月末時点	本補助事業のホームページを連携するスポーツ団体のHPにリンクを張ってもらい情報を発信する。				
D 自己評価 の体制	【上記】 事業終了時 【下段】 平成25年 2月末時点	本補助事業のホームページを連携する地元団体のHPにリンクを張ってもらい情報を発信する。				
	【上記】 事業終了時 【下段】 平成25年 2月末時点	各大会終了後の7月9日と9月25日に最良県自転車競技連盟役員会にて事業評価会を開催予定である。客観的な評価に努める。 評価結果は団体のホームページより結果を公表する。			大会終了後の7月9日と9月25日に最良県自転車競技連盟役員会にて事業評価会を開催し、事務局からの今後課題については議論できた。 評価結果は団体のホームページより結果を公表した。	

(4) 補助事業の総括 I (自己評価 I: 補助事業終了時) 作成者() 古野朝雄) [平成 23 年 11 月 5 日]
補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

総合評価 3

①採点 (補助事業全体の総合評価を行ってください)

②総合所見 (補助事業を振り返り、下記項目について記入ください)

今回の事業で、優れている点	【実績】 運営でマニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。 観光産業にも寄与したと考える。 【理由】 ロード競技については、特に新コースでの開催で運営でマニュアル作成とスタッフ確保には苦労したが今後につながった。 地元での宿泊も400人入と考えられる。	今回の事業の課題・改善すべき点と 思われる点	【課題】 ロード競技においては、公道の交通遮断により、ご迷惑をかけたことは今後の課題。 【改善策】 スタッフ確保については地元の団体と連携して確保していきたい。
事業全体の総合的感想	ロード競技においては、公道の交通遮断により、ご迷惑をかけたことは今後の課題。地元観光産業も活性化にも寄与する点に対しては達成しており、地元からは評価を得ることができた。スタッフ確保については地元の団体と連携して確保していきたい。トレーニング競技においては台風の直撃により、参加できない方がおられ残念であった。	事業実施で得る ことのできた教訓 (知識・知見)その他、アピール したい点等(あれば)	運営でマニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。

(5) 補助事業の総括 II (自己評価 II: 平成25年2月までの状況) 作成者() [平成 年 月 日]
平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況を記入ください。
○事業の目的等の達成状況

事業の目的(中間目標)、社会的課題(最終目標)の達成状況(必須)	
----------------------------------	--